

**【研究の名称】**

脳血管障害発症後における3Dプリント技術を用いた患者・作業療法士間協働支援機器製作プログラムの効果

**【研究の目的・意義】**

脳血管障害発症後の意欲低下や気分の落ち込みは、日常生活活動や生活の質を妨げることが知られています。そのため、入院中の意欲向上、気分の落ち込みの予防は重要と考えています。申請者は、3Dプリント技術を用いた患者・作業療法士間協働支援機器製作プログラムの効果（以下、協働支援機器製作プログラム）を考案しました。このプログラムは、支援機器を作り出す過程によって意欲を高め、また、それを使用し、身体機能、日常生活活動を改善することによって、自信を取り戻し気分の落ち込みを改善させることを目的としています。本研究の目的は、脳血管障害後の意欲低下、気分の落ち込みの改善に対する新しいリハビリテーションの方法を構築し、その有用性を明らかにすることです。

**【研究の方法および期間】**

「協働支援機器製作プログラム」を実施します。FIM（日常生活活動）、やる気スコア（意欲）、PHQ-9（気分の落ち込み）、在院日数をアウトカムとします。研究対象者はプログラム参加者20名です。プログラム非参加者は、令和5年4月～令和5年10月に美原記念病院に入院し、リハビリテーションを処方された患者様の中から条件に合致する20名を選定し、データを収集させていただきます。分析方法：FIM、やる気スコア、PHQ-9、在院日数をプログラム参加者、プログラム非参加者間で比較します。研究期間は2023年10月1日～2025年3月31日を予定しています。

**【研究協力の辞退について】**

令和5年4月～令和5年10月の過去のデータを使用させて頂くにあたり、この研究に協力を希望されない患者様は、下記担当者までお知らせ下さい。研究に協力されない場合であっても、患者様が不利益を被ることはありません。

**【個人情報の保護】**

本研究では患者様のカルテからデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護に最大限の注意を払い、匿名化の確保を行います。統計処理のため院外に得られた情報を持ち出す場合は、個人情報の保護に十分に配慮し、個人が特定できる情報を削除します。さらに、データをデジタル化し、第三者が閲覧することができないようにファイルにパスワードを設定し、持ち運びます。この研究で得られた成果は、今後、学会発表や学術雑誌等で公に発表されることがありますが、研究対象者を特定できる情報を公開することはありません。

2023年8月1日

**【研究問い合わせ先】**

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町1-7-1

TEL 027-365-3366 mail:kenkondoot@gmail.com

群馬パース大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 助教 近藤健

〒372-0006 群馬県伊勢崎市太田町366

TEL 0270-27-8813 mmh-ot@mihara-ibbv.jp

美原記念病院 リハビリテーション部 作業療法科 科長 石森卓夫